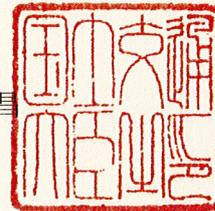


認定書

国住参建第 3860 号
令和 7 年 3 月 3 日

株式会社古河テクノマテリアル
代表取締役社長 花谷 健 様

国土交通大臣 中野 洋昌



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1055-1
2. 認定をした構造方法等の名称
ガラス繊維強化ポリプロピレン管／熱膨張性シート・シーリング材充てん／
壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ガラス繊維強化ポリプロピレン管／熱膨張性シート・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分(中空壁を除く)

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ 270mm以下)
	面積	0.057m ² 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		18～27mm(配管の外径がφ 114mmを超える場合) 9～28mm(配管の外径がφ 114mm以下の場合)
占 積 率 (開口面積に対する配管の断面積の割合)		85.3%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、 FP060NP-0046、FP060NP-0049、FP060NP-0075-1、FP060NP-0117、 FP060NP-0185-1、FP060NP-0189、FP060NP-0192-1、FP060NP-0233、 FP060NP-0250-1、FP060NP-0258-1、FP060NP-0294-1、FP060NP-0345-1、 FP060NP-0360-3、FP060NP-0379-1、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、 FP060NP-0427-1(1)、FP060NP-0427-1(2)、FP060NP-0441(1)、FP060NP-0441(2)、 FP060NP-0454-1、FP060NP-0485、FP060NP-0487、FP060NP-0497、 FP060NP-0504(1)、FP060NP-0504(2)、FP060NP-0516) 厚さ 42mm以上

3. 構成材料の仕様：

構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3及び寸法を表4に示す。

表2 構成材料の仕様

項目		仕様		
熱膨張性シート	材料	表面材張グラファイト系熱膨張性シート		
	使用箇所	貫通部の配管に巻き付け		
	寸法	幅：100mm以上 厚さ：7.83mm以上 長さ：配管外周2周巻き以上(配管の外径がφ114mmを超える場合) 配管外周1周巻き以上(配管の外径がφ114mm以下の場合)		
	表面材	材料	アルミニウム箔貼ガラスクロス	
		寸法	0.13mm以上	
	基材	材料	グラファイト系熱膨張性シート	
		組成(質量%)	材料組成は社外秘とさせていただきます。	
		密度	1.15(±0.20)g/cm ³ 以上	
厚さ		7.7mm以上		
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系		
	充てん量	隙間を密に充てん(壁表面から42mm以上かつ、壁厚)		

表3 配管の仕様

項目	仕様				
配管	ガラス繊維強化ポリプロピレン管	外径	φ216mm以下	厚さ	8.0mm以下

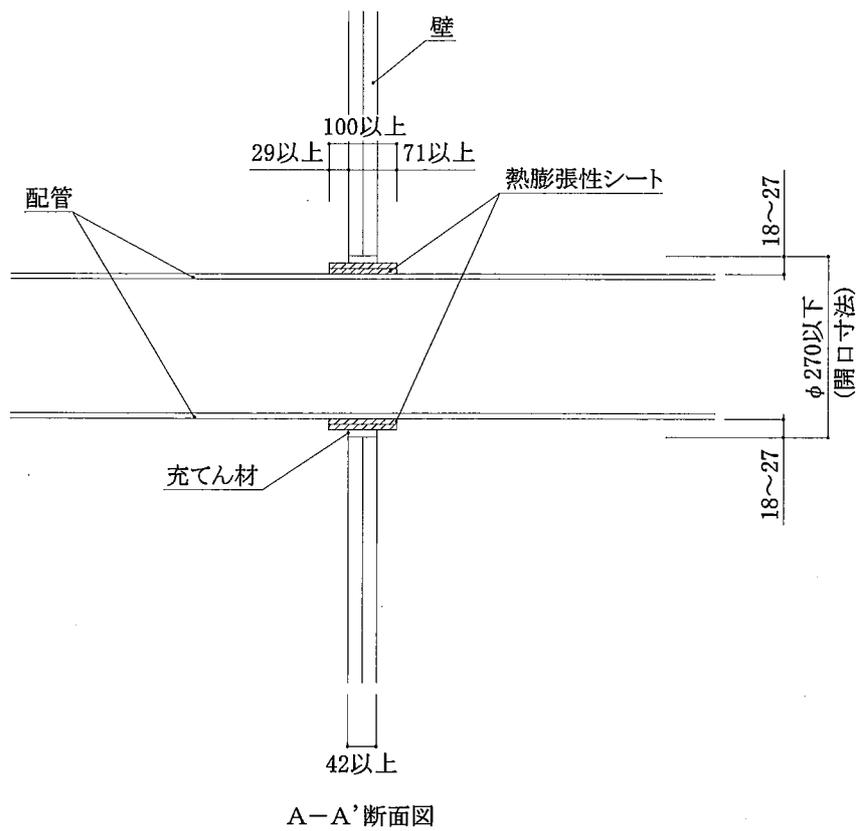
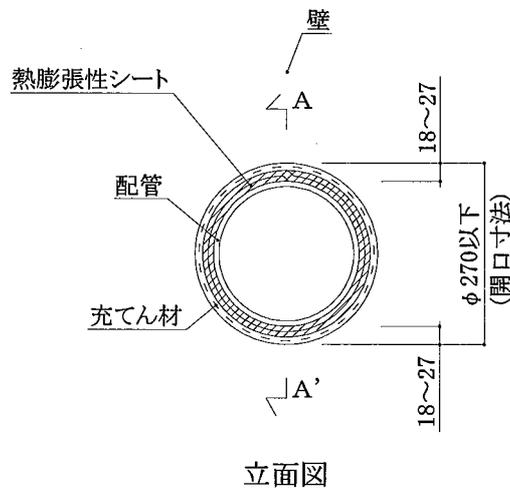
表4 配管の寸法

外径	呼径	厚さ	厚さの内訳	
			内層(PP)	外層(GRP)
φ48mm	40	4.0mm	1.5mm	2.5mm
φ60mm	50	5.0mm	1.5mm	3.5mm
φ89mm	75	5.0mm	1.5mm	3.5mm
φ114mm	100	5.0mm	1.5mm	3.5mm
φ140mm	125	6.0mm	2.0mm	4.0mm
φ165mm	150	7.0mm	2.3mm	4.7mm
φ216mm	200	8.0mm	2.7mm	5.3mm

注)PPとはポリプロピレン層、GRPとはガラス繊維入りポリプロピレン層を示す。

4. 構造説明図：
 構造説明図を図1及び図2に示す。

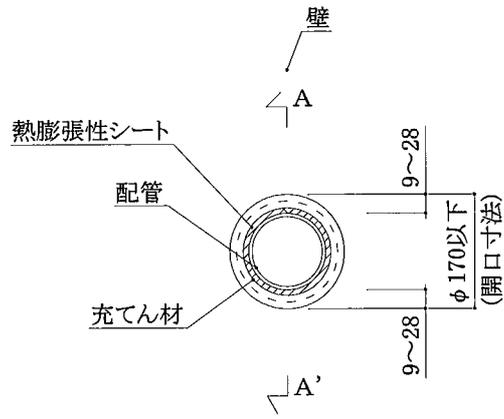
単位mm



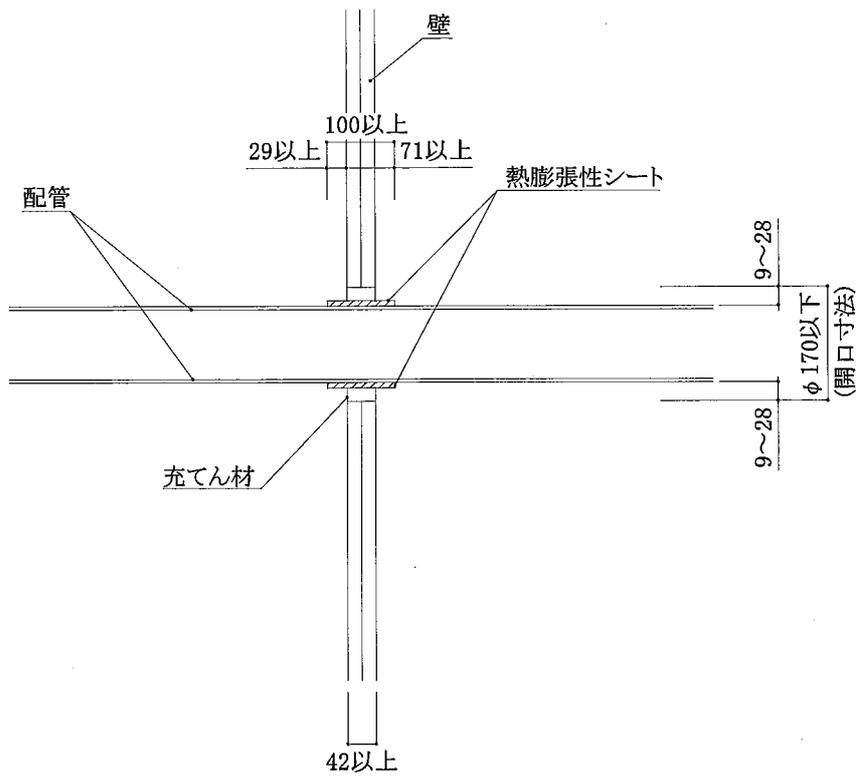
注)配管外周2周巻き以上
 (配管の外径がφ114mmを超える場合)

図1 構造説明図(施工図)

単位mm



立面図



A-A'断面図

注)配管外周1周巻き以上
(配管の外径がφ114mm以下の場合)

図2 構造説明図(施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部等の確認

開口部の面積、配管の占積率、壁の構造等が仕様に適合しているか確認する。

(2) 熱膨張性シートの巻き付け位置の確認

熱膨張性シートの先端が壁面から片側29mm以上突き出る位置を確認する。

(3) 熱膨張性シートの巻き付け

位置に従い熱膨張性シートを巻き付ける(配管の外径が $\phi 114\text{mm}$ を超える場合は2周巻き、配管外径が $\phi 114\text{mm}$ 以下の場合は1周巻き)。熱膨張性シートは、必要に応じて2分割にすることが出来る。この際、熱膨張性シートの端と端に隙間が出来ないように密着させる。若しくは、重ね合わせる。なお、熱膨張性シートの巻き付け際に、必要に応じて仮固定の施工用テープ(ビニールテープ・紙テープ・布テープ・不燃テープなど)を用いてもよい。

(4) 充てん材の埋め戻し

熱膨張シートと壁との隙間に充てん材(シーリング材)を密に充てんする。